

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等			
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A		選択	2	2	前期			
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー					
宮澤 江梨子	講師控室	kyoumu	随時メールにて質問等受付					
授業の目的・概要	<p><目的> 「ソーシャルワークの理論と方法 a, b」 で学んだ理論や方法を踏まえた上で、精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程や支援方法を理解することを目的とする。</p> <p><概要> 教科書を中心に授業を進め、ソーシャルワークの具体的な展開技法を解説する。併せて多職種・多機関連携の方法や精神保健福祉士の役割を解説し、適宜事例を用いたディスカッション及びグループワークも取り入れて理解を深める。</p>							
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()							
学習上の助言	<p>「ソーシャルワークの理論と方法 a, b」 で学習した内容が身についていることを前提として講義を進めるため、復習をしてから講義に参加することが望ましい。</p>							
教科書	<p>最新 精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [精神専門] /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版</p>							
参考書	なし							
外部教材	なし							
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針				
①	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの基本視点について説明できる。			HC(3)、(5)				
②	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法について説明できる。			HC(3)、(5)				
③	精神障害者の家族への支援の必要性とその方法について説明できる。			HC(2)、(3)、(5)				
④	精神障害者の地域生活支援におけるコミュニティワークの必要性について説明できる。			HC(2)、(3)、(5)				
⑤								
⑥								
授 業 計 画								
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)					
1	オリエンテーション: 講義概要、進め方、評価方法等を理解する。	講義	「ソーシャルワークの理論と方法 a, b」 の復習を行う。					
2	<第1章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク> ソーシャルワークの構成要素について学習する。	講義 ディスカッション	教科書と配布資料を使用して復習し、次回講義範囲の教科書を読む。					
3	ソーシャルワークの展開過程について学習する。	講義 ディスカッション						
4	精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開を学習する。	講義 ディスカッション						
5	<第2章 精神保健福祉分野のソーシャルワークの展開方法> 援助関係の形成技法について学習する。	講義 ディスカッション						
6	インテークの目的や機能及びアセスメントの重要性とツールについて学習する。	講義 ディスカッション						
7	面接技術と面接技法について学習する。	講義 ディスカッション						
8	グループワークの概念と精神保健福祉分野におけるグループワークの意義と方法について学習する。	講義 ディスカッション						
9	アウトリーチの重要性を学習し、当事者等へのアプローチについて考察する。	講義 ディスカッション						
10	人・環境へのアプローチについて、事例から具体的な支援の展開過程を学習する。	講義 グループワーク						
11	ケアマネジメントについて、事例から具体的なプロセスを学習する。	講義 グループワーク						
12	<第3章 精神保健分野における家族支援の実際>	講義 ディスカッション						
13	精神障害者家族の課題と支援、家族理解の変遷について学習する。	講義 ディスカッション						
14	<第4章 コミュニティワーク> 精神障害者の地域での生活について学習する。	講義 ディスカッション						
15	全体のまとめと振り返りを行う。	講義				講義全体の振り返りを行う。		

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。		
---	-----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	筆記試験で実施する。(50 点満点) 授業で取り扱った内容から、知識の定着及び理解度について問う。 試験範囲については、講義内で説明を行う。	Microsoft Teams を使用し、 フィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパー (30 点) と授業 への参加態度・意欲 (20 点) で評価を行う。	リアクションペーパーについ ては、次の講義の始めにフィ ードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	
実践的授業の内容	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合があります。 ・講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合があります。 ・ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A、B の順番で履修することが望ましい。